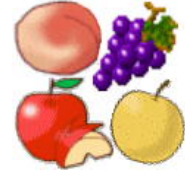




平成27年度 果樹情報 第19号

(平成28年3月11日)



福島県農林水産部農業振興課

1 気象概況 (果樹研究所)

1月の平均気温は1.9℃、2月の平均気温は2.6℃で各々平年と比較して0.5℃、0.6℃高い状況でした。降水量は1月が62.5mm、2月が16.0mmで各々平年の103%、31%でした。

3月1半旬の平均気温は2.6℃で平年と比較して1.0℃低く、降水量は2.0mmで平年の20%でした。

2 発芽予測 (果樹研究所)

今後の気温が平年並に経過した場合、モモ「あかつき」の発芽は3月21日頃で平年より4日早く、ナシ「幸水」の発芽は4月2日頃で平年並、リンゴ「ふじ」の発芽は3月26日頃で平年より2日早いと予測されます。

なお、この時期の生育は直前の気温の影響を大きく受けるため、今後の気温の推移により変動する可能性があるので注意しましょう。

表1 発芽予測 (平成28年3月9日現在)

	発芽日		今後の気温経過		
	昨年	平年	平年並	2℃高い	2℃低い
あかつき	3月22日	3月25日	3月21日	3月18日	3月24日
幸水	3月29日	4月2日	4月2日	3月28日	4月7日
ふじ	3月22日	3月28日	3月26日	3月22日	3月31日

注) 発育速度 (DVR) モデルによる発育予測。発芽日の平年は1986~2015年の平均値。

東北地方1か月予報(仙台管区气象台 平成28年3月10日発表)

今後の気温経過は、1週目 (3月12日~3月18日) 及び2週目 (3月19日~3月25日) は、平年より高い確立が各々50%、60%で、3~4週目 (3月26日~4月8日) は平年並及び高い確率が各々40%となっています。

3 栽培上の留意点

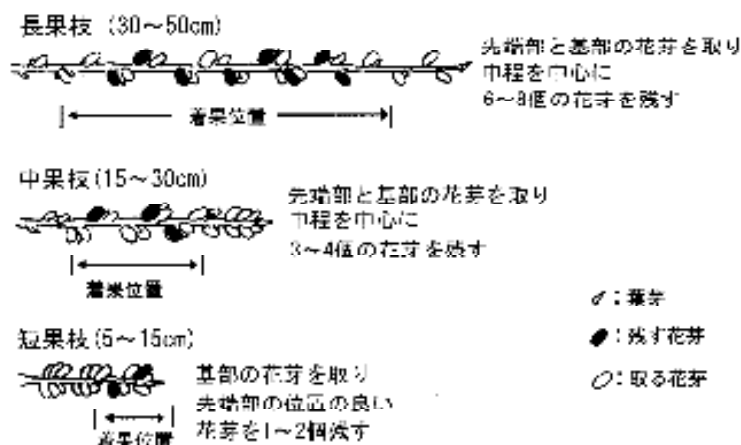
(1) 管理作業の計画的な実施

せん定やせん定枝の処理、誘引、休眠期防除等の管理作業は、発芽予測日と気象予報等を考慮し、遅れないよう計画的に実施しましょう。

(2) ももの摘らい

摘らい作業の適期は3月上旬から発芽直前頃までです。

発芽期以降は葉芽を痛めやすく、花らいも離脱しにくくなるため、作業能率が極端に低下しますので、計画的な作業を心掛けましょう。



4 病虫害防除上の留意点

休眠期の防除は、温暖無風の日を選び発芽前までに確実に実施しましょう。

(1) りんご

近年、腐らん病の発生が多くなっています。休眠期の防除を徹底するとともに、発病部位は完全に削り取りましょう。また、うどんこ病のボケ芽等はせん定の際に除去し、伝染リスクの低下を図りましょう。

(2) もも

縮葉病やハダニ類、カイガラムシ類等に対する休眠期の防除を実施しましょう。また、コスカシバの発生が多い園では、縮葉病の防除後に樹幹部および主枝を対象として防除薬剤を手散布しましょう。

(3) なし

黒星病に対する休眠期の防除は、発芽10日前までに完了させましょう。また、同病の枝病斑が見られる場合は、芽基部感染が多くなるおそれがありますので、せん定や誘引の際に除去を心掛けましょう。

(4) ぶどう

晩腐病防除のため、休眠期の防除を徹底するとともに、病原菌が越冬している可能性が高い巻きひげや結果母枝の枯死部等は、丁寧に除去しましょう。

せん定枝および伐採樹の取り扱いについて

せん定枝や伐採樹の野外焼却は「廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令」において、原則禁止されていますので適切に処理しましょう。

病虫害の発生予察情報・防除情報

病虫害防除所のホームページに掲載していますので、活用してください。

<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/37200b/>

農薬散布は、農薬の使用基準を遵守し、散布時の飛散防止に細心の注意を払いましょう。

発行：福島県農林水産部農業振興課 技術革新支援担当 TEL 024(521)7339
(以下のURLより他の農業技術情報等をご覧ください。)

URL：<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36021a/nogyo-nousin-gijyutu03.html>